

読者モデルのお仕事体験

# パイロット養成学校 & 遊覧飛行アシスタント

## Helicopter Pilot Assistant

広大なオーストラリアでは、航空機での人や荷物の運送はとっても大切。そこで、空を舞台に活躍するパイロットやその周りの仕事がどのようなものか、パースのヘリコプター運航会社『ヘリウエスト』でお仕事体験をしてもらいました！

ご協力頂いた会社



**heli west**  
ヘリウエスト

ジャンダコット空港に本社を構える、パース・シティやフリーマントル、ビーチなどへの遊覧飛行が観光客に人気のヘリコプター運航会社。その他、探鉱や環境保護のための現地調査、パイロット養成コース、ヘリコプターの販売なども行っている。

読者モデル



**かほり グレゴリーさん**  
(29才) 学生

在パース歴：1年6ヶ月  
ダイビングやジェットスキー、乗馬やダンスなど多彩なアクティビティが趣味。今は英語を勉強中で、パイロットの資格取得も思案中。一児の母でもある。

9:00am 制服をもらいオフィス内の見学



1 まず、パイロット養成学校でのお仕事を担当しているリスさんから、制服を受け取る。「お仕事体験、頑張るぞ〜！」。



2 オフィス内を案内してもらう。整備棟の入口には、ヘリコプター1機ごとの整備状態が書かれたログブック（記録書）がずらり。

9:20am 整備棟見学

3 いろいろな部署を案内される途中で、養成学校で使う最新の小型ヘリコプターに乗せてもらう。



販売用ヘリコプターのショールームで、「どうい人が買うんですか？」と聞くと「企業の他に個人の方もけっこう買っていきますよ」とリスさん。自宅の庭に置く人もいますとか。さすが、広いオーストラリア！



(左写真) 上段が、生徒のコース経過などを記録するログブック。その下に、教材として使うヘリコプターの部品の模型などが置かれている。

10:00am デスクワーク

4 養成学校の生徒の数や、今日の遊覧飛行の予約をコンピューターで確認。その後、“SAR Time”というヘリコプターの離着陸時間などの確認の方法と無線の使い方を教えてもらう。“SAR Time”はホワイトボードに記入。

11:00am 養成学校の資料作り



5 リスさんと一緒に担当してくれたジョンさんと、コース料金の説明書や政府へのヘリの登録申し込み書など、養成学校で使う生徒さんへの資料を作る。

1:00pm 遊覧飛行の説明を受けてパースウッドへ



午前中は雲っていた空が、こんなに青空に！



6 午後の担当者クリスティーナさんから、ヘリウエストの遊覧飛行のオプションなど、それぞれの違いや目玉をお客様に説明できるように講習を受ける。その後ジャンダコット空港からパースウッドに車で向かい、ホテル内のラックに遊覧飛行案内のパンフレットがちゃんとあるか確認 (左写真)。

次頁  
上段へ